

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

令和5年  
8月24日

NO. 130

SAIAI CLUB SAITAMA

# 彩愛クラブ埼玉



発行人 ▶ 内田まさ子

発行所 ▶ 公益財団法人 埼玉県老人クラブ連合会 〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65

tel 048-822-7330 fax 048-822-7377

印刷 ▶ 関東図書株式会社 〒336-0021 さいたま市南区別所 3-1-10 tel 048-862-2901 fax 048-862-2908

埼玉県老人クラブ連合会

検索



## 新広報委員長に就任して

小林 松十郎



令和5年4月14日(金)に開催された広報委員会にて、新しく広報委員

会長の委員長に選出されました「県老連副会長・川越市老連会長の小林松十郎」です。どうか前任の成田委員長とご同様の支援・ご協力をお願い申し上げます。

当広報委員会は、昭和56年9月に創刊号を発刊、現在では130号の発刊を迎えることになりました。広報誌は会員と会員、クラブとクラブを結ぶ重要な報道媒体であり、組織の内外への広報活動に大きな役割を担っていると思っています。

この度、広報委員長に就任して、改めてその重要性を実感しております。広報委員会の素晴らしい仲間と共に月に一回開催し、忙しい日々を過ごしております。

全国的に平成二十年をピークに老人クラブ会員は減少傾向にあります

が、この最近の3年間は、コロナ感染症の蔓延にともない老人クラブの活動が制約されたり、中止が続く、さらに悪化の傾向にあります。そこで、少しでも会員の減少に歯止めをかけるために、県老連では「会員増強の手引き」を発行して、「年間一単位クラブ純増2名プラン」を実施中です。

広報委員会としては、この運動を会員の皆様のご理解とご協力を得るために、「分かりやすく、理解しやすい紙面の作成」に取り組んでいます。

なお、前年度は、川越市老連の「会員増強の仲間づくりプラン」の講演で、東西南北の地区連絡協議会にお伺いして、各地区の仲間のお顔を拝見することができましたことは、大変にうれしく名誉なことと思っております。

今後ともよろしくお願い申しあげ就任の挨拶に致します。

## 新女性委員長就任挨拶

石川 みよ子



この度、県老連女性委員会委員長の重責を担うこととなりました。

石川みよ子と申します。県老連女性委員として長く在籍していたということのみで拜命された不慣れの私ですが、歴代の女性委員長の功績を引き継ぎ、皆様のご協力を戴きながら務めて参りたいと存じますので、どうかよろしくお願い致します。

私の老人クラブ活動の原点は、平成16年度に開催された県老連健康づくり大学での6ヶ月間から始まりました。受講生は多方面の業界経験者、自営業、主婦等多彩で、学籍簿によると男性30名、女性23名、平均年齢68歳でした。講師陣は大学教授や栄養学、薬学、レクリエーション、広報等の専門家で、毎回楽しい授業でした。老人クラブ運営に自主性を持って取り組むことの意味や楽しさ、重要性を学び、研修をとおして私の老人クラブへの認識が大きく変

わった、有意義な期間でした。忘れられない講師の言葉が「一人の大きな幸福ではなく、多くの人の小さな幸福の輪を広げる仕掛人になろう」というものでした。私はこの言葉を

クラブ活動の企画運営に際して常に心に問い掛けるようにしております。さて、ここ数年は先の見えないコロナ禍に悩まされ、気が付けば私達老人クラブの仲間が激減しています。感染を恐れ、家の中で鬱々として、友と語り合えるサロンも閉鎖される憂鬱な3年間でした。——しかし令和5年初夏、ようやく終息の兆しが見えて来ました。思いっきり深呼吸をしましょう。青空に向かって——。

女性委員会に於いては、引き続き友愛活動と会員増強運動を目標に掲げて、以前の「キラキラ楽しい老人クラブ」を復活させたいと願っています。皆様のお力をお借りして、着実に前進して参りたいと思っておりますので、ご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 令和五年度 第一回理事会

令和五年五月十七日(水)、彩の国すこやかプラザにおいて第一回理事会を開催しました。

出席者は理事十三名、監事二名  
で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 内田まさ子
- ・監事 清水絹代
- ・監事 山路孝

### ◆第一号議案「令和四年度事業報告について」

原案のとおり承認されました。

### ◆第二号議案「令和四年度収支決算について」

原案のとおり承認されました。

### ◆第三号議案「令和五年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会アトラクションの出演について」

令和六年三月十四日(木)、彩の国すいたま芸術劇場にて行れる令和五年度埼玉県老人クラブ大会指導者研修会にアトラクションの出演団体が、原案のとおり承認されました。

※出演団体

- ・川口市老人クラブ連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・さいたま市老人クラブ連合会

・越谷市老人クラブ連合会

### ◆第四号議案「年間一単位クラブ純増二名プラン」事例発表について

原案のとおり承認されました。

※発表団体

- ・熊谷市長寿クラブ連合会
- ・加須市北川辺地域老人クラブ連合会
- ・川口市老人クラブ連合会
- ・さいたま市老人クラブ連合会

### ◆第五号議案「令和五年度定時評議員会の開催について」

原案のとおり承認されました。

- ・日時 令和五年六月九日(金)
- ・会場 彩の国すこやかプラザ 会議室1
- ・議題

- ①令和四年度事業報告について
- ②令和四年度収支決算について
- ③基本財産の取り崩しについて
- ④理事の選任(補充)について
- ⑤評議員の選任(補充)について

### ◆報告事項

- ①会長、常務理事の職務の執行状況について
- ②年間一単位クラブ純増二名プランの報告書の提出
- ③「電話等による友愛活動マニュアル」の報告書の提出

## 令和五年度定時評議員会

令和五年六月九日(金)、彩の国すこやかプラザにおいて定時評議員会を開催しました。  
出席者は評議員七名、内田県老連会長で概要は次のとおりです。

議長 廣田勝明

議事録署名人

- ・評議員 石川みよ子
- ・評議員 嶋田泰雄

### ◆第一号議案「令和四年度事業報告について」

原案のとおり承認されました。

### ◆第二号議案「令和四年度収支決算について」

原案のとおり承認されました。

### ◆第三号議案「基本財産の取り崩しについて」

原案のとおり承認されました。

### ◆第四号議案「理事の選任(補充)について」

原案のとおり承認されました。

(現理事)  
久保昌夫氏(春日部市)

(新理事)  
中村剛毅氏(越谷市)

### ◆第五号議案「評議員の選任(補充)について」

(現評議員)

- 嶋田泰雄氏(上尾市)
- 安部卯内氏(志木市)
- (新評議員)
- 刃根正克氏(上尾市)
- 福居一夫氏(志木市)

### ◆報告事項

- ①会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増二名プラン」の推進について

☆プランの目的

埼玉県は、高齢者人口が増しているにもかかわらず、老人クラブの会員数は大幅に減少しています。日常的な「声かけ」で仲間づくりを推進し、魅力あふれるクラブづくりと会員相互の生きがい及び健康長寿の実現を目的に会員増強の手引きを活用し、会員増強運動の推進を目指すことを目的とします。

☆目標

年間一単位クラブ純増二名

☆運動期間

二年計画  
(令和四年度～令和五年度)

☆運動主体

- ・公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会
- ・市区町村老人クラブ連合会
- ・単位クラブ

- ②2020彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニュアル」の推進について

- ③埼玉県健康づくり大学生募集について  
令和四年度の健康づくり大学生は、三十三名だったので、  
令和五年度は、この数以上を集めたいと依頼があった。

# 地区連絡協議会 開催報告

## 東部地区

令和五年五月二十九日（月）

あしすと春日部

### 1. 開会

東部地区連絡協議会

内田親副会長

### 2. 挨拶

埼玉県老人クラブ連合会

内田まさ子会長

東部地区連絡協議会

玉水きみ子会長

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

### 3. 健康体操

全国老人クラブ連合会健康づくり推進委員

田中道子先生

田中道子先生

### 4. 行政説明

埼玉県高齢者福祉課

田中浩之主任

### 5. 埼玉県老人クラブ実態調査結果報告及び「年間一単位ク

ラ

ブ純増二名プラン」の今後の

推進について

埼玉県老人クラブ連合会

椎名久美子主幹

6. 川越市老連「年間一単位ク

ラ純増二名プラン」の報告及

び「電話等による友愛活動」

の報告

埼玉県老人クラブ連合会副会長

川越市老人クラブ連合会会長

小林松十郎氏

7. 令和五年度県老連事業計画に

ついて

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

### 8. 協議事項

(一) 埼玉県老人クラブ連合会理

事候補者の選任について

(二) 東部地区連絡協議会副会長

の選任について

(三) 埼玉県老人クラブ連合会女

性委員の選任について

### 9. 報告事項

10. その他・意見交換

### 11. 閉会

東部地区連絡協議会

茂呂義雄副会長

## 西部地区

令和五年五月十八日（木）

キラリふじみ

### 1. 開会

西部地区連絡協議会

小林松十郎副会長

### 2. 挨拶

埼玉県老人クラブ連合会

内田まさ子会長

西部地区連絡協議会

谷合傳治会長

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

### 3. 行政説明

埼玉県高齢者福祉課

芦川香奈美主査

### 4. 埼玉県老人クラブ実態調査結

果報告及び「年間一単位ク

ラ純増二名プラン」の今後の

推進について

埼玉県老人クラブ連合会

椎名久美子主幹

5. 川越市老連「年間一単位ク

ラ純増二名プラン」の報告及

び「電話等による友愛活動」

の報告

埼玉県老人クラブ連合会副会長

川越市老人クラブ連合会会長

小林松十郎氏

6. 令和五年度県老連事業計画に

ついて

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

7. 協議事項

(一) 埼玉県老人クラブ連合会評

議員候補者の選任について

8. 報告事項

9. その他・意見交換

10. 閉会

西部地区連絡協議会

瀧澤啓次副会長

南部地区

令和五年五月十日（水）

彩の国すこやかプラザ

1. 開会

南部地区連絡協議会

岩澤勝徳副会長

2. 挨拶

埼玉県老人クラブ連合会

内田まさ子会長

南部地区連絡協議会

品川惣壽会長

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

3. 自己紹介

4. 行政説明

埼玉県高齢者福祉課

田中浩之主任

5. 埼玉県老人クラブ実態調査結果報告及び「年間一単位クラブ純増二名プラン」の今後の

推進について

埼玉県老人クラブ連合会

椎名久美子主幹

埼玉県老人クラブ連合会

6. 川越市老連「年間一単位クラブ

純増二名プラン」の報告及び「電話等による友愛活動」の報告

埼玉県老人クラブ連合会副会長

川越市老人クラブ連合会会長

小林松十郎氏

令和五年度県老連事業計画について

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

協議事項

(一)埼玉県老人クラブ連合会評議員候補者の選任について

報告事項

その他・意見交換

閉会

南部地区連絡協議会

関根清一副会長

令和五年五月十五日（月）

熊谷文化創造館「さくらめいと」

開会

北部地区連絡協議会

北部地区

令和五年五月十五日（月）

熊谷文化創造館「さくらめいと」

開会

北部地区連絡協議会

岩崎菊雄副会長

2. 挨拶

北部地区連絡協議会

藤野銀三会長

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

3. 自己紹介

4. 行政説明

埼玉県高齢者福祉課

田中浩之主任

埼玉県老人クラブ実態調査結果報告及び「年間一単位クラブ純増二名プラン」の今後の

推進について

埼玉県老人クラブ連合会

椎名久美子主幹

埼玉県老人クラブ連合会

川越市老連「年間一単位クラブ純増二名プラン」の報告及び「電話等による友愛活動」の報告

埼玉県老人クラブ連合会副会長

川越市老人クラブ連合会会長

小林松十郎氏

令和五年度県老連事業計画について

埼玉県老人クラブ連合会

吉田妙子副会長

北部地区連絡協議会

吉田妙子副会長

埼玉県老人クラブ連合会

落合一弘事務局長

報告事項

その他・意見交換

閉会

北部地区連絡協議会

吉田妙子副会長

吉田妙子副会長

東部地区協議結果は次のとおり。

埼玉県老人クラブ連合会理事候補者

中村剛毅（越谷市）

東部地区連絡協議会副会長

中村剛毅（越谷市）

埼玉県老人クラブ連合会女性委員会委員

三ノ輪テル子（春日部市）

西部地区協議結果は次のとおり。

埼玉県老人クラブ連合会評議員候補者

埼玉県老人クラブ連合会評議員候補者

福居一夫（志木市）

南部地区協議結果は次のとおり。

埼玉県老人クラブ連合会評議員候補者

刀根正克（上尾市）

刀根正克（上尾市）

令和5年度  
**関東甲信越ブロック老人クラブリーダー研修会**

令和5年6月20日(火)～21日(水)に「関東甲信越ブロック老人クラブリーダー研修会」が新潟県新潟市で開催。会場「新潟東映ホテル」に各地から百九十二名が集合。本県は、品川惣壽氏、藤野銀三氏、小林松十郎氏、小藤伸一氏、渡辺充氏、矢部利夫氏、落合一弘(常務理事)の7名が参加した。



◎ **第一日目の研修会**

開会式に続いて基調報告とパネルディスカッションが行われ、4市老連の事例発表があった。

① **基調報告**

「**老人クラブの現状と課題**」

全老連参事 河野 敦子氏

① 「全世帯型社会制度」構築が必要。要介護になっても住み慣れた地域で暮らしていける仕組み作り。

② デジタルの活用で、誰一人取り残されない社会の実現を目指す。

③ ポストコロナを見据えた正しい感染防止対策で活動を開始する。

② **パネルディスカッション**

テーマ 明るい豊かな地域づくり  
 コーディネーター  
 新潟市中央区老人クラブ連合会会長 石川 義成氏

① 魅力あるお茶の間活動を通して健康寿命の延伸  
 新潟市老連 南区第一長生会 パネラー 登石 弘淑氏

② 西川地区老人クラブ協議会による文化・レクリエーション活動  
 新潟市老連 西蒲区西川地区 老人クラブ連合会会長 橋本 佑治氏

③ スマホを使ったデジタル友愛訪問とeスポーツ  
 千葉県老連 ベイシニア浦安 老人クラブ連合会会長

④ 地域内他団体との積極的相互交流から  
 相原 勇二氏  
 東京都老連 青梅市新町  
 末広高齢者クラブ長命会常任顧問 三ツ木 清次郎氏

◎ **第二日目の研修会**

① **表彰式**

関東甲信越ブロック連絡協議会 会長表彰41名  
 ▽埼玉県老連からは、  
 嶋田 泰雄氏(上尾市)

② **いきいきクラブ体操**

新潟市老連女性部

③ **郷土芸能**

新潟市秋葉区老人クラブ連合会女性部会  
 新潟市東区老人クラブ連合会女性部会



● **閉会式**

次回開催地の山梨県老連会長・田中勇氏のユーモアに溢れた挨拶で会場は大爆笑の渦。続いて、新潟市老連会長・土田正榮氏の挨拶で終了した。



川越市 小林 松十郎

## 会員増強の手引きを活用

# 「年間1単位クラブ純増2名プラン」についての アンケート集計結果

県老連は、会員増強の手引きを活用「年間1単位クラブ純増2名プラン」についてのアンケート調査を行いました。

調査の目的は、県老連がこれまで企画、推進してきた「会員増強の手引き」、「年間1単位クラブ純増2名プラン」がコロナ禍の令和4年度、市区町村老連でどのように活用されたかの調査であります。

この度、アンケート結果を取り纏めたので、ここに発表、ご報告申し上げます。なお、アンケート調査にご協力頂きました市区町村老連の役員の方々等に対し感謝と御礼を申し上げます。

### アンケートの設問

- ① 年間1単位クラブ純増2名プランに対して実施（協力）したか？
- ② 会員増強委員会を設置したか？
- ③ 会員増強の推進リーダーを選出したか？
- ④ 会員増強のために、啓発・広報活動を実施したか？
- ⑤ 単位クラブの状況把握に、アンケート調査を実施したか？
- ⑥ 会員増強運動を推進するため市区町村老連に於いて講演会・説明会等を実施したか？
- ⑦ 単位クラブの未設置地域に新しく単位クラブをつくるために、どのような方法・活動を実施したか？
- ⑧ 休会・解散クラブを復活させるために、どのような方法・対策を実施したか？
- ⑨ 会員増強運動推進の女性パワーを活用させるために、どのような活動（事業）を実施したか？
- ⑩ 会員増強運動の推進で若手パワーを活用させるために、どのような活動（事業）を実施したか？
- ⑪ 友愛活動と連携した会員増強運動を実施・計画したか？



## 会員増強の手引きを活用

130号  
特集

# 「年間1単位クラブ純増2名プラン」 についての

# アンケート集計結果

## アンケート結果について

県老連のアンケートに協力を頂いた市区町村老連の回答66について集計を行いました。

回答には、設問により回答の一部に矛盾が見られるものの、市区町村老連の会員増強運動は把握できたと、考えています。



### Q1 「年間1単位クラブ純増2名プランへの協力」について

《表1》



- ① 表1を見ると、年間1単位クラブ純増2名プランに「協力」と回答された老連は、50(75.8%)でした。
- ② 「協力しない」の回答は12(18.2%)、「無回答」は4(6.0%)となっています。  
どこの老連も会員が減少しており、会員増強運動を行っているはずです。従って、協力しないと回答された老連はコロナ禍で活動できないか、別の方法で活動されたと、推察されます。

### Q2 会員純増委員会の設置について

《表2》



- ① 表2を見ると、会員純増委員会を「設置した」と回答された老連は、9(13.6%)、「既存の組織」は14(21.2%)でした。  
この両者を合わせた23(34.7%)は、老連の組織的な活動のようです。
- ② 一方、「設置しない」の回答は40(60.6%)でした。これは、コロナ禍で老連として活動ができず、増員活動は単位クラブに一任したと、推定されます。

### Q3 会員増強の推進リーダーの選出

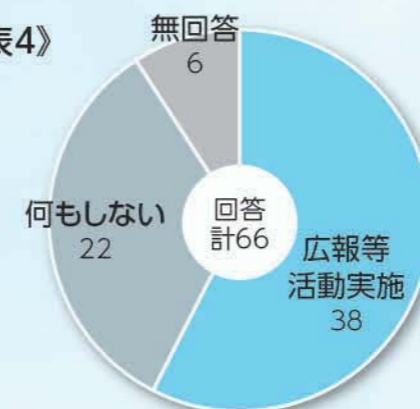
《表3》



- ① 表3を見ると、会員増強の推進リーダーを「選出した」と回答された老連は21(31.8%)でした。
- ② 「選出しない」と回答された老連は41(62.1%)で、活動を単位クラブに一任したと推察されます。

### Q4 啓発・広報活動の実施

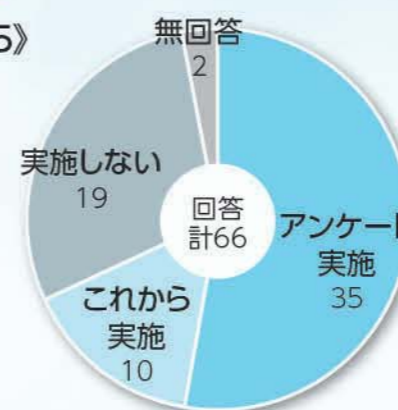
《表4》



- ① 表4を見ると、「広報等活動実施」と回答された老連は38(57.6%)で、50%を超える老連が本活動を行っているようです。
- ② 「何もしない」の回答は22(33.3%)でした。

### Q5 状況把握のアンケート調査

《表5》



- ① 表5を見ると、情報把握のために「アンケートを実施」したと回答された老連は35(53%)で、50%を超える老連が本アンケートを実施しているようです。



## 会員増強の手引きを活用

130号  
特集「年間1単位クラブ純増2名プラン」  
についての

## アンケート集計結果

## Q6 講演会・説明会の実施



- 表6を見ると、会員増強を図るために「講演等実施」と回答された老連は28(42.4%)で、コロナ禍の中で周知している状況がわかる。
- 一方、「何もしない」と回答した老連は35(53%)で、コロナの影響を強く感じます。

## Q7 未設置地域での単位クラブづくりの方法・活動



- 表7を見ると、未設置地域でのクラブ創生・活動は「市老連で協議」と回答された老連は9(13.6%)でした。
- 「何もしない」の回答は33(50%)、「その他」は20(30.3%)で、併せて80%を超えています。これは、本問題の困難さ、複雑さを示していると、感じました。

## Q8 休会・解散クラブの復活方法



- 表8を見ると、休会・解散クラブの復活方法で「市老連で協議」と回答された老連は10(15.2%)でした。
- 一方、「何もしない」との回答は32(48.5%)、「その他」17(25.8%)と、併せて70%を超えています。Q7と同様に、休会・解散クラブの解決策は今後の大きな課題である。

## Q9 女性パワーの活用方法



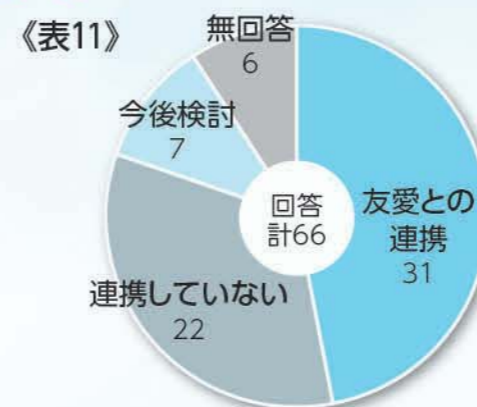
- 表9を見ると、会員増強のために「女性パワー活用」と回答された老連は19(28.8%)でした。
- 一方、「活用していない」の回答は29(43.9%)、「今後検討」は12(18.2%)と、併せて60%を超えています。女性の社会活動進出は30%以上が望まれています。女性役員のご活躍を期待いたします。

## Q10 若手パワーの活用方法



- 表10の設問は、Q9と連動しています。従って、回答内容は同一であり、「若手パワーの活用」と回答された老連は19(28.8%)でした。
- 「活用していない」、「今後検討」も同数であります。会員の高齢化に苦慮する単位老人クラブでは、クラブ継承・活性化等に若手パワーの活用は不可欠であります。若手パワーの活用が望まれます。

## Q11 友愛活動との連携



- 表11を見ると、「友愛との連携」と回答された老連は31(47%)となっています。
- 「連携していない」は22(33.3%)、「今後検討」は7(10.6%)で、両者を併せると43.9%になります。会員増強には友愛活動との連携が不可欠で、最も効果の上がる方法とされています。今後、これらクラブに於かれては、是非、連携をお願い致します。

## 令和4年度の会員増強報告

### 1 会員増強委員会の設立

令和4年4月14日の理事会にて承認された。

#### (1) 組織体制 (本部)

責任者 小林松十郎会長  
委員長 石田憲治副会長  
推進委員 研修指導部員  
(全18支部組織編成)

責任者 支部長  
推進委員長

単位クラブ会長

推進委員 班長・組長

### 2 説明会の実施

理事会 4月14日  
研修指導部 6月24日

#### (1) 説明内容

- ① 勧誘増強の手引きによる  
声かけで仲間を増やそう
- ② 組織体制の確立  
組織的に推進しよう
- ③ 勧誘方法を見つけよう  
自分達のやりやすい方法  
無理な計画は立てない
- ④ 老人クラブをPRしよう
- ⑤ 勧誘記録を付けよう



### 3 中間発表会の実施

期日 10月12日(水)

#### (1) 目的

勧誘結果より、各单位クラブの情報交換

#### (2) 発表時間 各支部5分間

#### (3) 発表内容

- ① 各支部の勧誘体制
- ② 具体的な取り組み
- ③ 問題点・反省点
- ④ 今後の活動と評価



#### (4) 中間発表会の目的

- ① 優良事例の紹介
- ② 取り組技法の共有化  
発表支部 18支部

委員会の設立 3支部  
既存組織の活用 15支部  
推定加入数 124名  
脱退数 61名





#### 4 グループディスカッション

- 期日 12月14日(水)  
 討議 30分間  
 記録 模造紙にまとめる
- (1) 課題
- ①なぜ、入会者が少ない？  
Aグループ・Bグループ
  - ②なぜ、会員は減少する？  
Cグループ・Dグループ
- 発表 各グループ15分間

#### 5 モデル支部の発表会

- 期日 令和5年1月31日(火)  
 場所 ウエスタ川越大ホール  
 発表 各支部15分間
- (1) 令和4年度モデル支部
- ①第5支部  
勧誘はクラブが一体となって
  - ②第6支部  
現状維持を目標に頑張る
  - ③第7支部  
未組織地域の会員をGGに誘う
  - ④第8支部  
地域を4分割して勧誘を割り当て



#### 6 記入用紙の配布

- 配布日 令和5年3月3日  
 提出期限 3月24日
- (1) 用紙の種類
- ①単位クラブ用
  - ②支部長用(傘下クラブ集計)
  - ③市老連用
  - ④県老連提出用

#### 7 令和4年度結果発表会

- 期日 令和5年3月29日  
 発表 各支部5分間
- (1) 単位クラブの表彰
- 優秀賞 純増2名以上
  - ①初雁クラブ(第1支部) 2名
  - ②松葉クラブ(第4支部) 2名
  - ③三寿会(第4支部) 2名
  - ④仙睦会(第7支部) 2名
  - ⑤白扇会(第7支部) 4名
  - ⑥喜楽会(第8支部) 2名
  - ⑦新伍会(第11支部) 10名
  - ⑧六・六会(第11支部) 2名
  - ⑨蔵根っ子(古谷支部) 2名
  - ⑩砂新田南不老会(高階支部) 2名
  - ⑪砂新田1丁目あさやま会(高階支部) 3名
  - ⑫南大塚瑞穂会(大東支部) 2名
  - ⑬大塚クラブ(大東支部) 4名
  - ⑭豊田町瑞穂会(大東支部) 3名
  - ⑮福寿会(霞ヶ関北支部) 9名

#### 8 令和5年度会員増強結果

- ⑯さくら会(霞ヶ関北支部) 5名
  - ⑰花みずき会(川鶴支部) 7名
  - ⑱福寿会(川鶴支部) 3名
  - 努力賞 5名以上加入
  - ①脇田新町(第9支部) 5名
  - ②みよしのOB会(名細支部) 7名
- (2) 支部の表彰
- 特別賞 支部で純増2名以上
- ①第4支部 4名
  - ②第7支部 2名
  - ③第8支部 2名
  - ④第11支部 9名
  - ⑤古谷支部 2名
  - ⑥霞ヶ関北支部 14名
  - ⑦川鶴支部 4名

項目	会員数
①令和4年度	4867人
②令和5年度	4751人
③加入数	218人
④退会数	334人
⑤会員増減	△116人
⑥単会数	86
⑦支部数	18
⑧訪問勧誘数	1274人
⑨他の勧誘数	752人

この活動で会員減少の歯止めと  
 なった。

川越市 小林 松十郎

県老連

## ワナゲ・マグダーツ普及講習会

令和5年6月27日、すこやかプラザにて県老連主催でワナゲ・マグダーツ普及講習会を開催しました。品川惣壽県老連副会長より挨拶、講師はフレンドリー情報センター

の西尾氏です。独特の柔らかかな説明に皆さんの堅さがほぐれます。準備体操はグーパー体操からジャンケンとなり、お隣さんと向かい合って、「ハイ」「つま先立ち」、「ハイ」かと立ち」と血液循環体操よろしく、和気合々楽しく始まりました。参加者を10組になるように分け



ました。まずは、ワナゲの説明です。投げ方、ビンゴの出来る様に投げるのが点数獲得のコツです。どこを狙って投げるのか、頭で考えてやること。

また、反則の説明①2mの投輪ラインは踏まないこと②両足は床につけること③輪が静止するまで次は投げないことの3点でした。始め各組練習で一巡する。

初心者が多いと聞いておりましたが、2回目になると皆さん高得点を出していました。



賑やかな笑顔のはじけた楽しい講習会でした。

最後に盛り上がりを見せてのは、パーフェクトゲーム。組別10組全員で4分以内にパーフェクトになる様、競いました。ベテランも初心者も必死で、一つ投げては次の人、また、次の人と、集中力が一番大切なのに、あわてているのでなかなか入りません。早くパーフェクトした組となかなか達成しない組とありましたが、皆達成感があり、楽しいゲームでした。

次は、マグダーツの説明です。針先を磁石に代えて高齢者にも安心して競技として取り入れてあるのでお勧めのゲームです。扇型の円形早見表の見方、投げ方のコツ、力の入れ方等、細かく説明がありました。得点表への書き込みは、審判と当事者相方で一緒に見て記入する。

終りに参加者からの質問があり、楽しい講習会となりました。

閉会を納美恵子県老連理事より「皆さん如何でしたか。楽しい時間はあっという間です。お疲れさまでした。お気をつけてお帰りください」と話され、無事に終了した。

戸田市 石川 みよ子



いきいき活動を  
支える

老人クラブ会員向けに **傷害保険・賠償責任保険** で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各单位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。  
(資料請求受付期間)【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで  
【賠償責任保険】随時受付中

2023年10月始期  
2024年 4月始期版

老人クラブ **傷害保険** (掛金・補償内容)

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。

一部のタイプでは他人の物を壊したり、

他人にケガをさせた場合\*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません  
(複数口加入はできません)。\*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

①保険始期月  
および保険期間

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
2023年10月	2023年7月15日～9月15日まで	2023年10月1日午後4時から1年間
2024年 4月	2024年1月15日～3月15日まで	2024年 4月1日午後4時から1年間

②掛金タイプと補償内容【下記◆重要◆と併せてご確認ください】

タイプ	補償充実 24時間型				活動型		
	クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)						
補償内容(保険金額)	掛金	12,000円/年	8,000円/年	5,000円/年	3,500円/年	1,000円/年	500円/年
㉔ 死亡保険金(注2) (事故から180日以内)		432万円 (262万円)	277万円 (192万円)	270万円 (185万円)	185万円 (140万円)	85万円	45万円
㉕ 後遺障害保険金(注3) (事故から180日以内)		170万円 (-)	85万円 (-)	85万円 (-)	45万円 (-)	85万円	45万円
㉖ 入院保険金日額(注4) (事故から180日以内、30日限額)		6,600円 (2,600円)	3,700円 (1,700円)	3,600円 (1,600円)	2,200円 (1,200円)	2,000円	1,000円
㉗ 通院保険金日額 (事故から180日以内、30日限額)		4,100円 (1,500円)	2,200円 (900円)	2,100円 (800円)	1,250円 (600円)	1,300円	650円
個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)(注6)		1億円限度				③【クラブ活動中とは】	
地震・噴火・津波 危険補償		対象となる保険金 ㉔㉕㉖㉗(注5)				(1)「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および (2)「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに (3)「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。 (4)事故証明者:単位クラブ関係者、参加した主催老連関係者	
熱中症危険補償		対象となる保険金 ㉔㉕㉖㉗(注5)					

◆重要◆

- ④(注1)往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
- ⑤(注2)すでに支払った後遺障害保険金がある場合の死亡保険金は、すでに支払った金額を控除した残額となります。
- ⑥(注3)後遺障害の程度に応じて、後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。
- ⑦(注4)手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- ⑧(注5)地震・噴火・津波危険補償、熱中症危険補償はクラブ活動中・活動以外を問わず24時間対象ですが、補償額は㉔死亡保険金、㉖入院保険金日額、㉗通院保険金日額の下段( )内の補償額(活動中以外の補償額)となります。
- ⑨(注6)1事故について1億円を限度に保険金をお支払いします。自動車等を運転中に生じた事故については対象外となります。

老人クラブ **賠償責任保険** (掛金・補償内容)

他人の物を壊したり、ケガをさせた時\*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象：単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間：毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補 償：支払限度額1億円

\*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。



公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係

〒100-0013 東京都千代田区豊が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30～12:00(注) 13:00～17:00(注) (注:日・祝祭日、年末年始)

加入申込書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】  
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・  
総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ賠償責任保険】

施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2023年3月作成 22TC-102744

## 令和5年度 健康づくり大学 入学式

令和5年7月26日（水）、新入生39名を迎えて彩の国すこやかプラザセミナーホールに於いて開催されました。

### 開会式

県老連事務局椎名主幹が司会を担当、品川惣壽県老連副会長から開会の言葉「皆様入学おめでとうございます。久しぶりに学生気分を味わいながら仲間と楽しく勉強して仲間を作って下さい。」と力強く話された。内田まさ子学長の挨拶「健康づくり大学の卒業生の皆様は地域で活躍されており、今日から皆様と共に会員増強に邁



進していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。」と激励の言葉を述べられました。

### 祝電の披露

「全老連会長」「埼玉県福祉部長」より玉水きみ子県老連副会長がご披露されました。

### 学生代表の言葉

高橋泰江氏より「講義に積極的に取り組み、有意義で、思い出の深いものとなるよう、努めますことをお誓い致します。」と話されました。

### 記念写真の撮影

全員揃って笑顔の記念写真

### オリエンテーション

椎名主幹より授業の日程、各班の役割について説明があり、5班に分かれ、編成された各班から班長を選び、また学生委員長に齊藤光男氏（川口市）と学生副委員長に畠田光雄氏（さいたま市）が選ばれました。どの班も活発な意見交換で楽しいオリエンテーションでした。

さいたま市 納 美恵子



## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されました。

老人クラブの皆様は、閉じこもりがちになり、足腰が弱ってしまっただ方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

また、本会で推進している「二単位クラブ純増2名プラン」のため、コロナ禍にも拘わらず会員増強に奔走されている方も多いのではないでしょうか。

皆様には大変敬意を表します。また、令和5年度に入り県老連から沢山の事業計画が発表されました。これからは広報委員会の出番です。

結びになりますが、私はこの度、五十嵐博一広報副委員長の後任を担うことになりました。まだまだ未熟ですが、頑張って広報副委員長を努めて参ります。よろしくお願ひ申し上げます。

さいたま市 納 美恵子

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

